

科目名	システムリサーチ							年度	2026
英語科目名	System Research							学期	後期
学科・学年	ITスペシャリスト科 3年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	金井		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア	
【科目の目的】 急速に進化する技術の中で、未来に必要とされる知識やスキルを自ら調査・研究する力を養うことを目指します。グループでの共同作業を通じて、情報収集、分析、資料作成、プレゼンテーションなどの一連のプロセスを実践的に経験し、企業活動に不可欠なチームワーク力や多様な価値観を尊重する姿勢を身につけます。これにより、IT業界をはじめとした多様な職場で活躍できる基盤を構築します。									
【科目の概要】 これからの社会で必要とされる様々な技術の中からテーマを選定し、グループ単位で調査・研究を行う。調査・研究の結果を資料にまとめ、発表を行うことで、各グループで得た知見を共有する。また、グループワークを通して、企業活動の中で不可欠となる「組織の一員としての活動、多様な価値観・考え方を認め合う活動」を経験する。									
【到達目標】 A. これからの社会で必要とされる様々な技術に興味関心を持って活動できる B. グループ内での役割分担に基づき、担当した役割を責任を持って遂行し、グループ活動に貢献できる C. グループ内でのディスカッションにおいて、自分の考えをしっかりと伝え、他者の意見も尊重することができる D. 調査・研究の成果をわかりやすい資料にまとめ、発表することができる E. 他者の発表を聴いてその知見を共有し、自己の活動に活用できる									
【授業の注意点】 この授業では、普段の授業態度や提出課題を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。自分でも、情報を収集し、最新のICTシステムに関する動向について調べること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	様々な技術に大いに感心を持って、自発的・主体的に深く調査が行える	様々な技術に感心を抱き、自発的に調査が行える	様々な技術に多少感心を抱き、自発的に調査を行うことがある	様々な技術に多少感心を抱くが、自発的・主体的な調査には至らない	様々な技術に感心を抱けず、自発的な調査活動はできない				
到達目標 B	自分の役割を認識し、グループ活動の成果を意識した活動が実行できる	自分の役割を認識し、他のメンバーにも配慮した活動が実行できる	自分の役割を認識でき、その役割を実行できる	自分の役割は認識できているが、責任意識が弱く、活動が不十分である	自分の役割を正しく認識できず、責任意識も希薄である				
到達目標 C	自分の考えと他者の考えを融合し、ディスカッションを発展させることができる	他者の多様な考え方を尊重したうえで、自身の意見をきちんと発言できる	自分の考えをまとめ、発言することができる	自分の考えはまとめられるが、自分の意見を発言することができない	自分の考えがまとまらず、ディスカッションに参加できない				
到達目標 D	わかりやすい資料と適切な発表方法で、聞き手の理解と評価を得ることができる	わかりやすい資料をまとめることができ、発表方法も適切でわかりやすい	多少の改善点はあるが、資料をまとめ、発表することができる	資料をまとめ、発表することはできるが、改善点が多い	わかりやすい資料が作成できず、発表内容もわかりにくい				
到達目標 E	興味関心を持って他者の発表を聴き、質疑応答にも積極的に参加できる	興味関心を持って他者の発表を聴き、良い点・改善点を自己の活動に活用できる	他者の発表を聴き、自己の活動への活用も意識できる	他者の発表に対する興味関心が薄い	他者の発表に興味関心を抱けない				
【教科書】 なし									
【参考資料】 適宜提示する									
【成績の評価方法・評価基準】 調査結果の資料、発表内容を総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		システムリサーチ			年度	2026
英語表記		System Research			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	授業の目的と進め方を理解する	1 授業の目的	授業の目標を理解できた	3	
			2 授業の進め方	授業の進め方を理解できた		
			3 グループの編成	グループ編成を進めることができた		
2		グループワークでの調査研究①	1 進め方の確認	グループ単位で活動を開始できた	3	
			2 テーマ1選定	グループ内で協議し、テーマ1を選定できた		
			3 リサーチ活動	役割分担を行い、リサーチ活動を開始できた		
3	テーマ1の調査研究	グループワークでの調査研究②	1 活動状況の確認	お互いの進捗状況を確認し、進め方を調整できた	3	
			2 リサーチ活動	リサーチ活動を進めることができた		
			3 ディスカッション	適宜ディスカッション行うことができた		
4		グループワークでの調査研究③	1 ディスカッション	まとめに向けたディスカッションができた	3	
			2 資料まとめ	リサーチ結果を資料にまとめることができた		
			3 発表準備	発表に向けて、プレゼンテーションの準備ができた		
5	テーマ1の発表	グループ単位でのプレゼンテーション(前半)	1 プレゼンテーション	グループ毎に登壇して、リサーチ結果を発表できた	3	
			2 質疑応答	発表内容について、質疑応答ができた		
			3 評価	他者の発表の良い点・改善点を評価できた		
6		グループ単位でのプレゼンテーション(後半)	1 プレゼンテーション	グループ毎に登壇して、リサーチ結果を発表できた	3	
			2 質疑応答	発表内容について、質疑応答ができた		
			3 評価	他者の発表の良い点・改善点を評価できた		
7	テーマ1の総括 テーマ2の準備	グループ内での振り返り	1 テーマ1の振り返り	活動を振り返り、良い点・改善点を確認できた	3	
			2 グループの編成	テーマ2の活動に向けて、グループ編成ができた		
8		グループワークでの調査研究①	1 進め方の確認	グループ単位で活動を開始できた	3	
			2 テーマ2選定	グループ内で協議し、テーマ2を選定できた		
			3 リサーチ活動	役割分担を行い、リサーチ活動を開始できた		
9	テーマ2の調査研究	グループワークでの調査研究②	1 活動状況の確認	お互いの進捗状況を確認し、進め方を調整できた	3	
			2 リサーチ活動	リサーチ活動を進めることができた		
			3 ディスカッション	適宜ディスカッション行うことができた		
10		グループワークでの調査研究③	1 活動状況の確認	お互いの進捗状況を確認し、進め方を調整できた	3	
			2 リサーチ活動	リサーチ活動を進めることができた		
			3 ディスカッション	適宜ディスカッション行うことができた		
11		グループワークでの調査研究④	1 ディスカッション	まとめに向けたディスカッションができた	3	
			2 資料まとめ	リサーチ結果を資料にまとめることができた		
			3 発表準備	発表に向けて、プレゼンテーションの準備ができた		
12	テーマ2の発表	グループ単位でのプレゼンテーション(前半)	1 プレゼンテーション	グループ毎に登壇して、リサーチ結果を発表できた	3	
			2 質疑応答	発表内容について、質疑応答ができた		
			3 評価	他者の発表の良い点・改善点を評価できた		
13		グループ単位でのプレゼンテーション(後半)	1 プレゼンテーション	グループ毎に登壇して、リサーチ結果を発表できた	3	
			2 質疑応答	発表内容について、質疑応答ができた		
			3 評価	他者の発表の良い点・改善点を評価できた		
14	テーマ2の総括	グループ内での振り返り	1 テーマ2の振り返り	活動を振り返り、良い点・改善点を確認できた	3	
15	まとめ	調査・研究ワークのまとめ	1 グループワーク総括	全活動を振り返り、良い点・改善点を確認できた	3	
			2 まとめ	自己の成果、今後の課題を確認できた		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等